

## 感覚運動医学講座／皮膚科学分野 附属病院／皮膚科

## 1. 領域構成教職員・在職期間

教授	長谷川 稔	平成25年6月-
准教授	尾山 徳孝	平成30年4月-
講師	飯野 志郎	平成18年10月-平成18年12月, 平成24年4月- (平成29年8月-現職)
助教	井戸 英樹	平成16年8月-平成17年9月, 平成20年10月-
助教	知野 剛直	平成26年4月-
助教	馬場 夏希	平成29年9月-

## 2. 研究概要

## 研究概要

## 1) 全身性強皮症の新規治療法の開発

炎症、線維化、血管障害を特徴とする全身性強皮症は膠原病のひとつであるが、いまだ良い治療法が確立されていない。このため、強皮症の動物モデルを用いて新規治療法の探索を行っている。

・ケモカインを標的とした抗体治療 プレオマイシンの連日皮下注射により誘導される強皮症のモデルマウスにおいて、マクロファージなどの遊走に作用するケモカインCX3CL1を阻害するモノクローナル抗体の腹腔内注射による治療効果を検討している。本年度の研究において、この抗体治療がプレオマイシンの連日皮下注射で誘導される強皮症、線維化、血管障害を抑制することがこれまでの検討で明らかとなった。また、他の皮膚線維化モデルである細胞増殖因子誘導性の強皮症モデルにおいても、本治療は線維化を有意に抑制した。いずれのモデルでも明らかな副作用はみられなかった。その作用機序についても検討したところ、抗体治療によってCX3CL1の受容体であるCX3CR1を発現したマクロファージなどの皮膚浸潤が著明に抑制されること、また興味深いことに線維芽細胞からのコラーゲンなどの産生を直接に阻害することがわかってきた。抗CX3CL1抗体は現在関節リウマチ患者などの臨床試験が進行しており、将来的には実際の強皮症患者の治療に発展させることを目指している。

## 2) 表皮に発現する蛋白デルモカインの役割の検討

乾癬やアトピー性皮膚炎などの炎症性皮膚疾患の患者病変部皮膚においては、正常な皮膚に比べて表皮上層にデルモカインの発現が増強していることを報告してきた。また、in vitroではデルモカインが表皮細胞の活性化や増殖を抑制する作用が認められた。しかし、in vivoでの役割はよくわかっていないため、遺伝子欠損マウスを作成することにした。

・デルモカイン欠損マウスの作成 我々は独自にデルモカイン $\beta/\gamma$ 欠損マウスとデルモカイン $\alpha/\beta/\gamma$ 欠損マウスを作成した。デルモカインの欠損により、生後10日間程度の限られた時期に魚鱗癬に似た皮膚の角化、かさつきがみられ、デルモカイン $\alpha/\beta/\gamma$ 欠損マウスではデルモカイン $\beta/\gamma$ 欠損マウスよりも強い表現型を呈した。また、TEWLなどの検討では、表皮バリア機能に異常がみられた。また、cornified envelopeの脆弱性が認められた。また、表皮におけるマイクロアレイによる検討では、興味深いことに乾癬と似た遺伝子プロファイルが認められた。

・デルモカインの皮膚疾患における役割の検討 上記のデルモカイン欠損マウスにイミキモドを外用して乾癬を誘導すると、野生型マウスに比べて乾癬が著明に悪化することが明らかとなった。一方で、アトピー性皮膚炎のモデルにおいては、野生型と差がみられなかった。

以上より、デルモカインは皮膚バリア機能に働くのみならず、分泌されたデルモカインが乾癬などの炎症の制御にも関与していると考えられた。現在、その機序についてさらに詳しく検討している。

## 3) 硬化性萎縮性苔癬の血清診断法・抗原特異的な治療法の確立

硬化性萎縮性苔癬は難治性の炎症性疾患であり、慢性的経過中に発癌を生じることがある。確定診断が病理組織学的に行われることや、病勢を把握する血清マーカーが無いことなどの問題点を踏まえ、我々は簡便かつ侵襲の少ない血清診断法、ならびに新規の治療法の開発を模索している。

・硬化性萎縮性苔癬患者の約7割に血清中抗ECM1抗体が存在することを我々は始めて報告した。その低い抗体価のために蛍光抗体間接法などの一般的な手法では検出が困難だったが、より鋭敏かつ特異性の高い血中抗体価の検出法を確立することを目指している。得られた知見は、抗ECM1抗体が本疾患のバイオマーカーとして、日常診療での病勢把握や治療効果の判定に応用できるかどうか検討を重ねていく予定である。

## 4) 肥満細胞症のc-kit遺伝子変異の集約的な解析

肥満細胞症は小児～成人までの幅広い年齢層に様々な形態で生じる良性的腫瘍性疾患であるが、まれに白血化して悪性の転換を取ることが知られている。本疾患の予後や治療法の選択をする上で、我々は肥満細胞の異常な増殖に関わるc-kit遺伝子の変異、ならびにその変異の部位が関与している可能性について報告してきた。この遺伝子変異の検索を行っている施設は本邦では殆どないことから、現在当科が全国規模を見据えた、肥満細胞症におけるc-kit遺伝子解析のプラットフォームとしての役割を担えるような体制を整えている。

## キーワード

強皮症、乾癬、アトピー性皮膚炎、硬化性苔癬、肥満細胞症、新規治療

## 業績年の進捗状況

## 特色等

当教室では、膠原病のひとつで炎症、線維化、血管障害を特徴とする全身性強皮症を専門として力を入れて診療している。しかしながら、本疾患は膠原病の中でも最も治療反応性が悪く、いまだ治療法が確立されていない。このため、新規治療を開発すべく、2つのアプローチを行っている。ひとつは、マクロファージなどの組織への細胞浸潤を誘導するケモカインのひとつであるCX3CL1を抑制する抗体治療であり、もうひとつは線維化に重要なTGF- $\beta$ のシグナルを抑制する新規化合物の内服治療である。強皮症のモデルマウスにこれらの薬剤を投与し、炎症、線維化、血管障害などを抑制する効果が確認され、問題となる副作用はみられていない。いずれの薬剤も市販されていないものであり、どこでもできる研究ではない。将来的には、これらの薬剤を実際の強皮症患者や他の炎症性疾患や線維化疾患に投与する臨床試験へと発展させたい。また、薬剤の作用機序を検討する中で、強皮症の病態を明らかにする手がかりが得られるものと信じている。

もうひとつの研究の大きな柱は、表皮に発現する蛋白デルモカインの役割の解明である。この蛋白は表皮の顆粒層に発現し、角化やバリア機能の他、炎症の抑制などに作用する可能性がある。これまでの検討からわかっている。しかし、その役割をより明らかにするために我々はデルモカインの欠損マウスを作成して、その表現型を解析している。このマウスでは生後10日間ほど、魚鱗癬のようなかさかさの皮膚を呈し、魚鱗癬のモデルとして有用な可能性がある。また、そのような角化異常がデルモカインがないことでなぜ生じるのか、他の角化に関わる分子との関連も含めて解析を進めている。このように、本研究は皮膚の角化やバリア機能の解明に結びつく点で皮膚科学で重要な意味を持つ。そして、独自に作成した遺伝子欠損マウスを用いた解析であり、非常に独創性の高い研究といえる。

このマウスでは、その後の成長とともに皮膚の性状は異常がみられなくなってくる。しかしながら、このマウスに代表的な皮膚炎症性疾患である乾癬モデルを誘導すると野生型マウスに比べて悪化がみられる。このように、デルモカインは角化やバリア機能異常のみならず、免疫担当細胞にも作用してある種の炎症の抑制に作用しているものと考えられ、皮膚炎症性疾患におけるバリア機能と免疫異常とのクロストークの解明の一助になると思われる。そして、デルモカインの発現を促進するような治療が、将来的に実際の乾癬患者に有用となる可能性を秘めており、臨床的な意義も大きい。

## 本学の理念との関係

当教室では世界的水準での免疫学的な研究を推進しており、これらの研究成果は皮膚科学やリウマチ学の国際的なトップジャーナルに掲載されることを目標としている。また、これらの研究を通して、地域、国、国際社会に貢献できる研究者の育成を行っている。いずれの研究も、市販されていない治療薬や遺伝子欠損マウスを用いた独創性の高いものであり、難治性の皮膚疾患やリウマチ疾患における最新治療の開発に結びつく最先端の医学研究である。これらのことから、当教室での研究内容は本学の理念によく合致したものであり、その意義は大きいと考える。

## 3. 研究実績

区分	編数		
	2018年分	2018年分	
和文原著論文	2		
	ファーストオーサー	3	7.178 (7.178)
英文論文	コレスポンディングオーサー	3	7.178 (7.178)
	その他	7	26.861 (26.861)
	合計	10	34.039 (34.039)

- (A) 著書・論文等
- (1) 英文：著書等
- a. 著書
- b. 著書（分担執筆）
- c. 編集・編集・監修
- (2) 英文：論文等
- a. 原著論文（審査有）
- 1833001 Miyanaga M, Iino S, Oyama N, Kogami A, Maruta N, Hayakawa Y, Hasegawa M.: A rare case of chronic expanding haematoma in the occipital region mimicking a malignant soft tissue tumour., *Australas J Dermatol.*, 59(4), e314-e315, 201805 (症例報告), #1.602
- 1833002 Mugii N, Matsushita T, Oohata S, Okita H, Yahata T, Someya F, Hasegawa M, Fujimoto M, Takehara K, Hamaguchi Y.: Long-term follow-up of finger passive range of motion in Japanese systemic sclerosis patients treated with self-administered stretching., *Mod Rheumatol.*, 29(3), 484-490, 201903, DOI: 10.1080/14397595.2018.1466635., #1.955
- 1833003 Enomoto S, Shigemitsu H, Kitazaki Y, Ikawa M, Yamamura O, Hamano T, Tai K, Iwasaki H, Koizumi H, Hasegawa M, Takeda K, Nakamoto Y.: *Cladophialophora bantiana* infection mimicking neuromyelitis optica., *J Neurol Sci.*, 399, 169-171, 201812 (症例報告), #2.448
- 1833004 Utsunomiya N, Oyama N, Chino T, Utsunomiya A, Hida Y, Hasegawa M.: Dietary supplement product composed of natural ingredients as a suspected cause of erythema multiforme: A case report and identification for the confident false positivity of lymphocyte transformation test., *J Dermatol.*, 46(3), 234-239, 201903, DOI: 10.1111/1346-8138.14739., #2.788
- 1833005 Hasegawa M, Ishikawa O, Asano Y, Sato S, Jinnin M, Takehara K, Fujimoto M, Yamamoto T, Ihn H.: Diagnostic criteria, severity classification and guidelines of lichen sclerosus et atrophicus., *J Dermatol.*, 45(8), 891-897, 201808, DOI: 10.1111/1346-8138.14171., #2.788
- 1833006 Jinnin M, Yamamoto T, Asano Y, Ishikawa O, Sato S, Takehara K, Hasegawa M, Fujimoto M, Ihn H.: Diagnostic criteria, severity classification and guidelines of eosinophilic fasciitis., *J Dermatol.*, 45(8), 881-890, 201808, DOI: 10.1111/1346-8138.14160., #2.788
- 1833007 Samotij D, Szczech J, Kushner CJ, Mowla MR, Dańczak-Pazdrowska A, Antiga E, Chasset F, Furukawa F, Hasegawa M, Hashizume H, Islam A, Ikeda T, Lesiak A, Polanska A, Misery L, Szepletowski JC, Tsuruta D, Adamski Z, Werth VP, Reich A.: Prevalence of Pruritus in Cutaneous Lupus Erythematosus: Brief Report of a Multicenter, Multinational Cross-Sectional Study., *Biomed Res Int.*, 2018, 3491798, 201807, DOI: 10.1155/2018/3491798., #2.583
- 1833008 Asano Y, Fujimoto M, Ishikawa O, Sato S, Jinnin M, Takehara K, Hasegawa M, Yamamoto T, Ihn H.: Diagnostic criteria, severity classification and guidelines of localized scleroderma., *J Dermatol.*, 45(7), 755-780, 201807, DOI: 10.1111/1346-8138.14161., #2.788
- 1833009 Matsushita T, Kobayashi T, Mizumaki K, Kano M, Sawada T, Tennichi M, Okamura A, Hamaguchi Y, Iwakura Y, Hasegawa M, Fujimoto M, Takehara K: BAFF inhibition attenuates fibrosis in scleroderma by modulating the regulatory and effector B cell balance., *Sci Adv.*, 4(7), eaas9944, 201807, DOI: 10.1126/sciadv.aas9944, #1.511
- 1833010 Okiyama N, Asano Y, Hamaguchi Y, Jinnin M, Motegi SI, Koizumi H, Hasegawa M, Ishikawa O, Sato S, Takehara K, Yamamoto T, Fujimoto M, Ihn H.: Impact of a new simplified disability scoring system for adult patients with localized scleroderma., *J Dermatol.*, 45(4), 431-435, 201804, DOI: 10.1111/1346-8138.14214., #2.788
- b. 原著論文（審査無）
- c. 原著論文（総説）
- d. その他研究等実績（報告書を含む）
- e. 国際会議論文
- (3) 和文：著書等
- a. 著書
- b. 著書（分担執筆）
- 1833011 長谷川 稔：皮膚筋炎(DM)：大嶋勇成、宮地良樹：皮膚科・小児科の専門医がやさしく教える こどもの皮膚のみかた、(株)診断と治療社、160-163, 201903, 978-4-7878-2358-8
- 1833012 長谷川 稔：紫斑：福井次矢、高木 誠、小室一成：今日の治療方針 私はこう治療している TODAY'S THERAPY 2019, (株)医学書院, 1254-1255, 201901, 978-4-260-03650-4
- 1833013 長谷川 稔：クリオグロブリン血症：古川福実、佐伯秀久：皮膚疾患最新の治療2019-2020, 南江堂, 76, 201901, 978-4-524-24548-2
- 1833014 長谷川 稔：全身性強皮症：出光 俊郎：皮膚症状 110症例でみる内科疾患, 日本医事新報社, 62-63, 201809, 978-4-7849-6720-0
- 1833015 長谷川 稔：強皮症：宮地 良樹：皮膚科外来グリーンノート, 中外医学社, 130-133, 201808, 978-4-498-06364-8
- c. 編集・編集・監修
- (4) 和文：論文等
- a. 原著論文（審査有）
- 1833016 加藤 卓浩, 飯野 志郎, 宇都宮 慧, 小泉 遼, 尾山 徳孝, 長谷川 稔：持続勃起症を契機に発見されたフルニエ壊疽, 皮膚病診療, 40(7), 699-702, 201807
- 1833017 三ツ井 美穂, 安斎 正樹, 園田 智明, 島田 昭和, 長谷川 稔, 石塚 全：ニューモシスチス肺炎治療後に診断された臨床的無筋性皮膚筋炎の1例, 日本呼吸器学会誌, 7(6), 399-403, 201811
- b. 原著論文（審査無）
- c. 総説
- 1833018 長谷川 稔：低補体血症性蕁麻疹様血管炎, 日本臨床増刊号 血管炎(第2版)-基礎と臨床のクロストーク-, 76(6), 406-409, 201807
- 1833019 長谷川 稔：強皮症:実践的な診療から最新の治療まで, 日本皮膚科学会雑誌, 128(7), 1495-1500, 201806
- 1833020 長谷川 稔：特集 皮膚アレルギー疾患の膠原病診療のニューフェイス, *Pharma Medica*, 36(4), 43-47, 201804

## d. その他研究等実績 (報告書を含む)

- 1833021** 長谷川 稔: 免疫学的検査法, 2018年度日本皮膚科学学会研修講習会テキスト-必須(総会)-, 201806
- 1833022** 宇都宮 慧, 知野剛直, 尾山徳孝, 長谷川 稔: Dermokine (DMKN) 欠損マウスは新生仔期に可逆性の皮膚バリア機能異常を生じる, 第33回角化症研究会記録集(Proceedings Conference on Disorders of Keratinization), 20-23, 2018
- 1833023** 長谷川 稔: 診療ガイドライン講習会3 硬化性萎縮性苔癬の診断と治療, マルホ皮膚科セミナー[ラジオNIKKEI]放送内容集, 257, 17-20, 201901
- 1833024** 浅野 善英, 石川 治, 神人 正寿, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 藤本 学, 牧野 貴充, 山本 俊幸, 佐藤 伸一, 尹 浩信: 硬化性萎縮性苔癬のアンケート調査結果について, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究 平成30年度 総括・分担研究報告書, 107-117, 201903
- 1833025** 藤本 学, 浅野 善英, 石川 治, 神人 正寿, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 牧野 貴充, 山本 俊幸, 佐藤 伸一, 沖山 奈緒子, 尹 浩信: 硬化性萎縮性苔癬の基準・重症度分類と治療の後ろ向き調査研究, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究 平成30年度 総括・分担研究報告書, 102-106, 201903
- 1833026** 神人 正寿, 浅野 善英, 石川 治, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 藤本 学, 牧野 貴充, 山本 俊幸, 佐藤 伸一, 尹 浩信: 好酸球性筋膜炎の診療ガイドラインの妥当性の検証, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究 平成30年度 総括・分担研究報告書, 74-101, 201903
- 1833027** 浅野 善英, 石川 治, 神人 正寿, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 藤本 学, 牧野 貴充, 山本 俊幸, 佐藤 伸一, 尹 浩信: 「限局性強皮症 診断基準・重症度分類・診療ガイドライン」に関する全国アンケート調査, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究 平成30年度 総括・分担研究報告書, 63-73, 201903
- 1833028** 牧野 貴充, 浅野 善英, 石川 治, 神人 正寿, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 藤本 学, 山本 俊幸, 佐藤 伸一, 牧野 雄成, 澤村 創一, 島田 秀一, 林 みゆき, 尹 浩信: 熊本大学医学部附属病院における限局性強皮症・好酸球性筋膜炎・硬化性萎縮性苔癬の症例数・診断基準・重症分類調査, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究 平成30年度 総括・分担研究報告書, 60-62, 201903
- 1833029** 長谷川 稔, 浅野 善英, 川口 鎮司, 桑名 正隆, 後藤 大輔, 神人 正寿, 高橋 裕樹, 竹原 和彦, 波多野 将, 藤本 学, 牧野 貴充, 田中 住明, 佐藤 伸一, 福井 玲芽, 宇都宮 慧, 小泉 遼, 尹 浩信: 2016年厚生労働省全身性強皮症診断基準の妥当性の検討, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究 平成30年度 総括・分担研究報告書, 33-39, 201903
- 1833030** 尹 浩信, 浅野 善英, 石川 治, 川口 鎮司, 桑名 正隆, 後藤 大輔, 神人 正寿, 竹原 和彦, 長谷川 稔, 波多野 将, 藤本 学, 牧野 貴充, 山本 俊幸, 麦井 直樹, 佐藤 伸一: 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究, 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業 強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究 平成30年度 総括・分担研究報告書, 3-12, 201903

## e. 国際会議論文

## (B) 学会発表等

## (1) 国際学会

## a. 招待・特別講演等

## b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演 (口演)

- 1833031** Utsunomiya A, Chino T, Oyama N, Utsunomiya N, Vu Huy Luong, Hasegawa M.: Isoform-specific functions of dermokine in imiquimod-induced psoriasiform dermatitis: a structural sequelae of impaired epidermal differentiation., The 47th Annual Meeting of The Japanese Society for Immunology, Mucosal-Skin Immunity-1, Fukuoka city, 20181210
- 1833032** Utsunomiya A, Chino T, Oyama N, Utsunomiya N, Vu Huy Luong, Higashi K, Saito K, Tsuruta D and Hasegawa M.: Isotype-specific functions of dermokine in skin barrier maintenance and percutaneous immuneresponse., International Investigative Dermatology 2018, Orlando (USA), 20180516
- 1833033** Vu Huy Luong, Chino T, Oyama N, Matsushita T, Obara T, Kuboi Y, Ishii N, Machinaga A, Ogasawara H, Ikeda W, Imai T and Hasegawa M.: Blockade of CX3CL1-CX3CR1 pathway attenuates skin inflammation, fibrosis, and vascular injury in experimental mouse of systemic sclerosis., International Investigative Dermatology 2018, プレナリー講演, Orlando (USA), 20180516

## d. 一般講演 (ポスター)

- 1833034** Utsunomiya A, Chino T, Oyama N, Utsunomiya N, Vu Huy Luong, Hasegawa M.: Isoform-specific functions of dermokine in imiquimod-induced psoriasiform dermatitis: a structural sequelae of impaired epidermal differentiation., The 47th Annual Meeting of The Japanese Society for Immunology, Fukuoka city, 20181210
- 1833035** Matsushita T, Kobayashi T, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Fujimoto M and Takehara K.: IL-6-producing effector B cell promotes fibrosis in scleroderma, while IL-10-producing regulatory B cells suppresses it: BAFF inhibition modulating effector and regulatory B cell balance., International Investigative Dermatology 2018, Orlando (USA), 20180516
- 1833036** Utsunomiya N, Oyama N, Chino T, Utsunomiya A, Vu Huy Luong and Hasegawa M.: Detection of serum autoantibodies to extracellular matrix protein 1 (ECM1) and relevant abnormal expression of hemidesmosomal antigens in lichen sclerosus., International Investigative Dermatology 2018, Orlando (USA), 20180516

## e. 一般講演

## f. その他

## (2) 国内学会 (全国レベル)

## a. 招待・特別講演等

- 1833037** 長谷川 稔: 皮膚免疫の基礎と臨床, 第46回日本臨床免疫学会総会, ビギナーズセミナー2, 長野県軽井沢, 20181108
- 1833038** 長谷川 稔: 膠原病と血管炎, 2018年度 日本皮膚科学会研修講習会, 東京都, 20180825
- 1833039** 茂木 精一郎, 岡田 克之, 金子 栄, 加納 宏行, 倉繁 祐太, 澄川 靖之, 高橋 秀典, 玉城 善史郎, 辻田 淳, 西澤 綾, 藤田 英樹, レバウアーアンドレ, 渡辺 正一, 長谷川 稔: ガイドラインから学ぶ創傷・褥瘡・熱傷の治療の基本とupdate. ~創傷・褥瘡・熱傷の治療に役立つ創傷一般の基礎知識(EL49-1), 第117回日本皮膚科学会総会, 教育講演49, 広島市, 20180531, 抄録, 1060
- 1833040** 長谷川 稔: ~皮膚病変形成における好酸球・好塩球の役割~好酸球性筋膜炎: ガイドラインの解説(EL20-1), 第117回日本皮膚科学会総会, 教育講演20, 広島市, 20180531, 抄録, 1002
- 1833041** 尾山 徳孝: ~線維化を伴う疾患: ガイドラインから最新の話まで~硬化性苔癬のガイドラインに基づく診断と治療(EL7-3), 第117回日本皮膚科学会総会, 教育講演7, 広島市, 20180531, 抄録, 977
- 1833042** 長谷川 稔: 専門医なら知っておきたい診断技法「免疫学的検査法」, 2018年度日本皮膚科学会研修講習会必須(総会), 20180603

## b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演 (口演)

- 1833043** 宇都宮 夏子, 上杉 沙織, 井戸 英樹, 尾山 徳孝, 奥野 絢子, 田畑 麻里, 長谷川 稔: スガマデクス-ロクロニウム複合体によるアナフィラキシーの1例, 第69回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 大阪市, 20181027, 132
- 1833044** 馬場 夏希, 飯野 志郎, 加藤 卓浩, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 樋口 翔平, 今村 好章, 石黒 和守: 左踵の皮下結節, 第34回日本皮膚病理組織学会, 東京都, 20180421, 抄録, 51
- 1833045** 馬場 夏希, 飯野 志郎, 宇都宮 夏子, 加藤 卓浩, 小泉 遼, 尾山 徳孝, 長谷川 稔: 外陰部疣贅癌の1例, 第34回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会, 浜松市, 20180706, 155
- 1833046** 寺尾 知可史, 小寺 雅也, 齋藤 和義, 川口 鎮司, 赤星 光輝, 長谷川 稔, 浅野 善英, 茂木 精一郎, 松下 貴史, 牧野 貴充, 中野 和久, 高木 香恵, 平田 潤, 関口 明子, 岡 晃, 伊藤 有美, 田中 義人, 菅田 実穂, 吉藤 元, 白井 悠一郎, 西田 絵美, 森田 明理, 堀田 哲也, 瀧美 達也, 吉崎 歩, 小泉 遼, 宇都宮 慧, 藤本 学, 牧野 雄成, 近藤 裕也, 住田 孝之, 嶋 良仁, 熊ノ郷 淳, 山本 俊幸, 鈴木 知佐子, 山本 元久, 高橋 裕樹, 後藤 大輔, 遠藤 平仁, 神人 正寿, 石川 治, 鳥井 剛, 鮎澤 菜穂, 柳田 英寿, 尹 浩信, 佐藤 伸一, 竹原 和彦, 新納 宏昭, 田中 良哉, 桑名 正隆, 松田 文彦, Yannick Allanore, 岡田 随象, 松尾 恵太郎, 大村 浩一郎, 三森 経世: 強皮症における日本人特異的疾患感受性HLA領域の同定, 平成30年度厚生労働科学研究費補助金・難治性疾患等政策研究事業「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診断ガイドラインに関する研究」研究班・平成30年度日本医療研究開発機構(AMED)難治性疾患実用化研究事業「全身性強皮症に対する新規低分子化合物の有効性に関する研究」研究班・第22回強皮症研究会議(SSC, Scleroderma Study Conference)合同会議, 東京都, 20190126
- 1833047** 土屋 尚之, 難波 菜摘, 川崎 綾, 佐田 憲映, 平野 史生, 松下 貴史, 長谷川 稔, 小林 茂人, 山田秀裕, 古川 宏, 島田 浩太, 橋本 篤, 松井 利浩, 長坂 憲治, 杉原 毅, 鈴木 亜衣香, 山藤 邦弘, 住田 孝之, 當間 重人, 本間 栄, 尾崎 承一, 橋本 博史, 榎 野博史, 有村 義宏, 佐野 伸一, 竹原 和彦, 針谷 正祥: ANCA関連血管炎および全身性強皮症における間質性肺疾患合併とMUC5Bプロモーター多型との関連解析, 平成30年度 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診断ガイドラインに関する研究」研究班・平成30年度日本医療研究開発機構(AMED)難治性疾患実用化研究事業「全身性強皮症に対する新規低分子化合物の有効性に関する研究」研究班・第22回強皮症研究会議(SSC, Scleroderma Study Conference)合同会議, 東京都, 20190126, 9
- 1833048** 松下 貴史, 濱口 儒人, 長谷川 稔, 藤本 学, 竹原 和彦: 全身性強皮症におけるRegulatory B細胞とEffector B細胞の解析, 平成30年度 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診断ガイドラインに関する研究」研究班・平成30年度日本医療研究開発機構(AMED)難治性疾患実用化研究事業「全身性強皮症に対する新規低分子化合物の有効性に関する研究」研究班・第22回強皮症研究会議(SSC, Scleroderma Study Conference)合同会議, 東京都, 20190126, 7
- 1833049** 宇都宮 慧, 知野 剛直, Vu Huy Luong, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 丹羽 真一郎, 大塚 雅巳, 尹 浩信: 上皮間葉転換を抑制する化合物Xの新規抗線維化薬としての可能性について, 平成30年度 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診断ガイドラインに関する研究」研究班・平成30年度日本医療研究開発機構(AMED)難治性疾患実用化研究事業「全身性強皮症に対する新規低分子化合物の有効性に関する研究」研究班・第22回強皮症研究会議(SSC, Scleroderma Study Conference)合同会議, 東京都, 20190126, 6
- 1833050** 本多 美貴, 上杉 沙織, 加藤 卓浩, 尾山 徳孝, 長谷川 稔: 塩酸ミノサイクリン内服が有効と考えられたatrophoderma of Pasini and Pieriniの1例, 第48回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会, 榎原市, 20181116
- 1833051** 福井 玲予, 小泉 遼, 宇都宮 慧, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 吉田 正美: 脱感作投与でヒドロキシクロロキンの内服を継続しえたシェーグレン症候群による環状虹斑の1例, 第70回日本皮膚科学会西部支部学術大会, 松江市, 20181110
- 1833052** 上杉 沙織, 尾山 徳孝, 島田 絵理華, 宇都宮 夏子, 小泉 遼, 知野 剛直, 宮永 美紀, 飯野 志郎, 長谷川 稔, 安富 素子, 大嶋 勇成, 早川 幸紀: BCG接種後に生じ、長期にわたり再燃と消退を繰り返した壊死性丘疹状結核疹の1例, 第69回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 大阪市, 20181027, 161
- 1833053** 小泉 遼, 馬場 夏希, 上杉 沙織, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 武藤 悠平, 田中 悠二: 悪性症候群を発生し治療に難渋した薬剤性過敏症候群の1例, 第69回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 大阪市, 20181027, 133
- 1833054** 知野 剛直, 尾山 徳孝, 宇都宮 慧, 宇都宮 夏子, 長谷川 稔, 磯崎 由宇子, 湯浅 光織, 畑 郁江, 久保 亮治: LMNA遺伝子の異変により発症した色素異常を伴う先天性脂肪萎縮症の1例, 日本人類遺伝学会第63回大会, 横浜市, 20181010
- 1833055** 宇都宮 慧, 知野剛直, 尾山徳孝, 宮永美紀, 山口由佳, 長谷川 稔: WRN遺伝子に既知変異を同定したWerner症候群の2例, 第82回日本皮膚科学会東部支部学術大会, 一般演題12, 旭川市, 20181006, 146
- 1833056** 宇都宮 夏子, 宮永 美紀, 加藤 卓浩, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 福島 克治: 夫婦間で異なる皮疹を生じ、治療終了直後に妊娠が判明した第2期梅毒, 第33回日本皮膚学会学術大会, 松山市, 20180907, 149
- 1833057** 加藤 卓浩, 飯野 志郎, 北風 光平, 宇都宮 慧, 馬場 夏希, 尾山 徳孝, 長谷川 稔: 陰茎部分切断術とセンチネルリンパ節生検術を施行した陰茎有棘細胞癌の2例, 第33回日本皮膚外科学会 総会・学術集会, 大阪市, 20180901
- 1833058** 馬場 夏希, 飯野 志郎, 長谷川 巧, 上杉 沙織, 笠松 宏至, 小泉 遼, 尾山 徳孝, 長谷川 稔: トシリズマブ投与中の関節リウマチ患者の下肢に生じたSerratia marcescens による多発皮下膿瘍の1例, 第33回日本皮膚外科学会 総会・学術集会, 大阪市, 20180901, 205
- 1833059** 宇都宮 慧, 知野 剛直, 尾山 徳孝, 宇都宮 夏子, Vu Huy Luong, 東 清史, 齋藤 幸一, 鶴田 大輔, 長谷川 稔: Imiquimod誘発乾癬様皮膚炎の皮疹形成にかかわるテルモカインのアイソフォーム特異的な免疫応答, 日本免疫学会第20回免疫サマースクール2018 in 指宿, 指宿市, 20180820
- 1833060** 宇都宮 慧, 知野 剛直, 尾山 徳孝, 宇都宮 夏子, Vu Huy Luong, 東 清史, 齋藤 幸一, 菅原 弘二, 鶴田 大輔, 長谷川 稔: Dermokine(DMKN)欠損マウスは新生仔期に可逆性の皮膚バリア機能異常を生じる, 第33回消化症研究会, セッション2, 東京都, 20180728
- 1833061** 上杉 沙織, 宮永 美紀, 尾山 徳孝, 飯野 志郎, 長谷川 稔, 佐野 和生, 河原 謙一: 歯科金属の除去で改善した肉芽腫性口唇炎の女兒例, 第42回日本小児皮膚科学会学術大会, 東京都, 20180714, 147
- 1833062** 八代 浩, 馬場 夏希, 長谷川 義典: 後頸部の疼痛が主訴であった頸部血管肉腫の1例, 第34回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会, 浜松市, 20180706, 164
- 1833063** 加藤 卓浩, 飯野 志郎, 宇都宮 慧, 笠松 宏至, 馬場 夏希, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 成瀬 貴之, 小練 研司, 川崎 勇夫: ニボルマブ、イピリムマブ投与後に腸管壊死をきたした進行期足底悪性黒色腫の1例, 第34回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会, 浜松市, 20180706, 146
- 1833064** 知野 剛直, 宇都宮 慧, 宇都宮 夏子, Vu Huy Luong, 尾山 徳孝, 東 清史, 齋藤 幸一, 長谷川 稔: マウスを用いたアトピー性皮膚炎や魚鱗癬の胎児治療の確立のための研究, 第117回日本皮膚科学会総会, 広島市, 20180531
- 1833065** 飯野 志郎, 馬場 夏希, 長谷川 巧, 清水 千尋, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 小林 英理子, 今村 好章: 右頬部の腫瘤, 第34回日本皮膚病理組織学会, 東京都, 20180421, 抄録, 53

## d. 一般講演 (ポスター)

- 1833066** 原 龍之介, 馬場 夏希, 宇都宮 夏子, 加藤 卓浩, 小泉 遼, 飯野 志郎, 尾山 徳孝, 長谷川 稔: 陰茎癌の1例, 第117回日本皮膚科学会総会 学生・研修医発表セッション, 広島市, 20180602
- 1833067** 宇都宮 夏子, 尾山 徳孝, 宇都宮 慧, 宮永 美紀, 知野 剛直, 長谷川 稔, 飛田 征男: ミドリムシ含有製剤による多型紅斑型薬疹の1例: 薬剤リンパ球刺激試験(DLST)の有用性についての検討, 第46回日本臨床免疫学会総会, 長野県軽井沢, 20181108, 114
- 1833068** 井戸 英樹, 飯野 志郎, 笠松 宏至, 小泉 遼, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 早川 幸紀: 術後の再発病変にターゲット型エキシマライト照射が奏効したりポイド類壊死症の1例, 第69回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 大阪市, 20181027, 161
- 1833069** 宇都宮 夏子, 上杉 沙織, 井戸 英樹, 尾山 徳孝, 長谷川 稔, 奥野 絢子, 田畑 麻里: ブリックテストで診断したスガマデクス-ロクロニウム複合体によるアナフィラキシーの1例, 第67回日本アレルギー学会学術大会, 千葉市, 20180622, 648
- 1833070** 山内 悠大, 小泉 遼, 尾山 徳孝, 長谷川 稔: ヒドロキシクロロキンが奏効したlupus erythematosus tumidusの小児例, 第117回日本皮膚科学会総会 学生・研修医発表セッション, 広島市, 20180602, 40

## 業績一覧

- 1833071** 小泉 遼,尾山 徳孝,大鐘 邦弘,堤内 俊喜,扇 和弘,塩浦 宏樹: 中咽頭癌と急速進行性間質性肺炎を合併した抗MDA-5抗体陽性の皮膚筋炎の1例, 第117回日本皮膚科学会総会, 広島市, 20180531
- 1833072** 笠松 宏至,飯野 志郎,宇都宮 慧,加藤 卓浩,知野 剛直,尾山 徳孝,長谷川 稔,成田 憲彦,西村 陽一: ニボルマブが奏効した耳輪部悪性黒色腫の1例, 第117回日本皮膚科学会総会, 広島市, 20180531
- 1833073** 小泉 遼,長谷川 稔: 免疫抑制療法にヒドロキシクロキソンの追加が奏効した腰部の巨大な深在性ループスエリテマトーデスの1例, 第62回日本リウマチ学会総会・学術集会, 東京都, 20180426, 813

### e. 一般講演

### f. その他

## (3) 国内学会(地方レベル)

### a. 招待・特別講演等

- 1833074** 尾山 徳孝: 「毒蛇咬傷:最近の動向と治療マネージメント」, 第22回北陸皮膚科セミナー, 教育講演, 金沢市, 20180610
- 1833075** 尾山 徳孝: 「乾癬のかゆみ:抗ヒスタミン剤の温故知新」, 武生医師会5月度月次医学会, 越前市, 20180510
- 1833076** 長谷川 稔: 「ループスの皮膚病変と治療方針」, 栃木皮膚膠原病セミナー, 特別講演, 宇都宮市, 20180412

### b. シンポジスト・パネリスト等

### c. 一般講演(口演)

- 1833077** 宇都宮 夏子,尾山 徳孝,上杉 沙織,井戸 英樹,奥野 絢子,田畑 麻里,長谷川 稔: ブリックテストで診断したスガマデクス単剤とロクロニウム-スガマデクス複合体による薬物アレルギーの2症例, 第45回北陸アレルギー研究会, 金沢市, 20181201
- 1833078** 馬場 夏希,飯野 志郎,加藤 卓浩,尾山 徳孝,長谷川 稔,樋口 翔平,今村 好章,石黒 和守: Plantar fibromatosisの1例, 第129回福井県皮膚科医会例会, 福井市, 20180517
- 1833079** 上杉 沙織,知野 剛直,尾山 徳孝,宇都宮 慧,宇都宮 夏子,馬場 夏希,長谷川 稔: 小児発症の皮膚肥満細胞症4例のc-kit遺伝子解析, 第131回福井県皮膚科医会例会, 福井市, 20190314
- 1833080** 北風 光平,飯野 志郎,加藤 卓浩,馬場 夏希,知野 剛直,尾山 徳孝,長谷川 稔: Pigmented squamous cell carcinomaの2例, 日本皮膚科学会北陸地方会第461回例会, 金沢市, 20190224
- 1833081** 宇都宮 夏子,尾山 徳孝,山口 由佳,長谷川 稔: 種々の治療に難渋し、アダリムマブが奏効した稽留性肢端皮膚炎の1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第461回例会, 金沢市, 20190224
- 1833082** 本多 美貴,尾山 徳孝,長谷川 稔: Steatocystoma multiplexとeruptive vellus hair cystsが合併した1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第460回例会, 富山市, 20181209
- 1833083** 山口 由佳,尾山 徳孝,小泉 遼,知野 剛直,長谷川 稔: ニコチン酸アミドが奏効した角層下膿疱症の1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第460回例会, 富山市, 20181209
- 1833084** 宇都宮 夏子,尾山 徳孝,宇都宮 慧,知野 剛直,長谷川 稔,飛田 征男: ミドリムシ含有製剤の内服後に生じた多型紅斑型薬疹の1例:薬剤リンパ球刺激試験(DLST)の有用性についての検討, 第45回北陸アレルギー研究会, 金沢市, 20181201
- 1833085** 宇都宮 慧: 既知のWRN遺伝子変異を同定したWerner症候群の2例, 第130回福井県皮膚科医会例会, 福井市, 20181018
- 1833086** 笠松 宏至,飯野 志郎,北風 光平,長谷川 稔,原田 憲一: 背部に生じたsuperficial angiofibromaの1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第459回例会, 福井市, 20180902
- 1833087** 北風 光平,尾山 徳孝,島田 絵理華,長谷川 稔,高嶋 渉,石黒 和守: ミノサイクリン局注療法が奏効した再発性耳介偽嚢腫の2例, 日本皮膚科学会北陸地方会第459回例会, 福井市, 20180902
- 1833088** 小泉 遼,飯野 志郎,笠松 宏至,本多 美貴,尾山 徳孝,長谷川 稔,東馬 智子,和田 泰三,谷内江 昭宏: PAPASH症候群が疑われた1例, 第90回日本皮膚科学会山梨地方会 島田真路日本皮膚科学会理事長退任記念地方会, 一般演題3, 甲府市, 20180902
- 1833089** 加藤 卓浩,飯野 志郎,長谷川 巧,馬場 夏希,清水 千尋,尾山 徳孝,長谷川 稔,小林 英理子,今村 好章: 異型細胞を伴った皮膚混合腫瘍の1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第458回例会, 金沢市, 20180624, 4
- 1833090** 馬場 夏希,飯野 志郎,宇都宮 夏子,尾山 徳孝,長谷川 稔: 2期的手術と術中迅速診断の併用で根治しえた鼻部基底細胞癌の1例, 日本皮膚科学会北陸地方会第458回例会, 金沢市, 20180624, 3
- 1833091** 武藤 悠平,田中 悠二,馬場 夏希,東間 正人,小坂 浩隆: 薬剤性過敏症候群(DIHS)の経過中に悪性症候群を発症した双極性感情障害の一例, 第194回北陸精神神経学会, 富山市, 20180729

### d. 一般講演(ポスター)

### e. 一般講演

### f. その他

## (4) その他の研究会・集会

### a. 招待・特別講演等

- 1833092** 長谷川 稔: 診断に苦慮する皮膚病変～乾癬、アトピー性皮膚炎、膠原病～, 第23回日高皮膚疾患診療懇話会, 特別講演, 川越市, 20190314
- 1833093** 尾山 徳孝: 乾癬モデル動物の外挿と貢献の軌跡, オテズラ錠発売1周年記念講演会in福井, 福井市, 20181122
- 1833094** 宇都宮 夏子: 硬化性苔癬の病態にかかわるECM1の機能障害について, 第9回皮膚科最新医療研究会, 研究講演1, 東京都, 20181120
- 1833095** 長谷川 稔: ループスと強皮症の皮膚病変, 第12回くろしお皮膚談話会, 特別講演, 高知市, 20181120
- 1833096** 長谷川 稔: 全身性強皮症の病態と指尖潰瘍治療, 「強皮症セミナー」～全身性強皮症における手指潰瘍を中心に～, 特別講演, 札幌市, 20181017
- 1833097** 長谷川 稔: 全身性強皮症の血管病変とその治療, 全身性強皮症にともなう手指潰瘍のトータルマネージメントを考える会in群馬, 前橋市, 20180927

### b. シンポジスト・パネリスト等

## 業績一覧

## c. 一般講演（口演）

1833098

宇都宮 夏子：「乾癬と鑑別を要する疾患：当科で経験した2症例について」、第9回福井の乾癬を考える会、福井市、20180616

## d. 一般講演（ポスター）

## e. 一般講演

## f. その他

## (C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

## (D) その他業績

1833099

宮永 美紀：ちょっと一息 医局ラウンジ、皮膚科の臨床、201901

1833100

長谷川 稔：IS09001:2015 再認証審査を終えて、院内だより、201807

## 4. グラント取得

## (A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
国立研究開発法人日本医療研究開発機構	難治性疾患実用化研究事業	全身性強皮症に対する新規低分子化合物の有効性に関する研究	長谷川 稔		2018	100001

区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	炎症性皮膚疾患のバリア機能異常を反映する新規バイオマーカーの探求と臨床応用の検討	宇都宮 慧		2018	1690000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	硬化性萎縮性苔癬の細胞外基質を標的とする免疫異常の病態解明と分子標的治療への応用	宇都宮 夏子		2018	1300000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究(B)	抗線維化作用を有する新規化合物を用いた強皮症の治療開発	小泉 遼		2018	1300000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	マウスを用いたアトピー性皮膚炎や魚鱗癬の胎児治療の確立	知野 剛直		2018	1170000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	乾癬の病態におけるデルモカインβ/γの役割の解明	徳力 篤		2018	1300000

## (B) 奨学金等

受入件数	25
受入金額	12215000

## 5. その他の研究関連活動

## (A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
国内学会（地方レベル）	主催者	日本皮膚科学会北陸地方会第461回例会	20190224	金沢市
国内学会（地方レベル）	主催者	日本皮膚科学会北陸地方会第459回例会福井県分科会	20180902	福井市

## (B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本皮膚科学会	代議員	長谷川 稔
日本研究皮膚科学会	理事	長谷川 稔
日本皮膚免疫アレルギー学会	理事	長谷川 稔
日本乾癬学会	評議員	長谷川 稔
日本白斑学会	評議員	長谷川 稔
日本臨床免疫学会	評議員	長谷川 稔
日本免疫学会	一般会員（一般会員）	長谷川 稔
日本リウマチ学会	一般会員（一般会員）	長谷川 稔
強皮症研究会	監事	長谷川 稔
米国リウマチ学会	一般会員（一般会員）	長谷川 稔
米国研究皮膚科学会	一般会員	長谷川 稔

## (C) 座長

国内学会	学会名	氏名
招待・特別講演等	福井PAH研究会	長谷川 稔
招待・特別講演等	第22回北陸皮膚科セミナー	長谷川 稔
招待・特別講演等	第9回福井の乾癬を考える会	長谷川 稔
招待・特別講演等	アメンナリーフ錠200mg発売記念講演会 in 福	長谷川 稔
招待・特別講演等	福井皮膚アレルギーセミナー	長谷川 稔
招待・特別講演等	2018年度日本皮膚科学会研修講習会 必須（総会）	長谷川 稔
一般講演（口演）	第117回日本皮膚科学会総会	長谷川 稔
招待・特別講演等	第42回日本小児皮膚科学会学術大会	長谷川 稔
招待・特別講演等	福井皮膚疾患研究会2018	長谷川 稔

業績一覧

招待・特別講演等	Atopic Dermatitis Forum in 福井	長谷川 稔
招待・特別講演等	日本皮膚科学会北陸地方会第459回例会	長谷川 稔
招待・特別講演等	福井県血管炎講演会	長谷川 稔
招待・特別講演等	第10回福井県皮膚腫瘍研究会	長谷川 稔
招待・特別講演等	福井皮膚病理研究会	長谷川 稔
招待・特別講演等	福井県皮膚疾患フォーラム	長谷川 稔
招待・特別講演等	第69回日本皮膚科学会中部支部学術大会	長谷川 稔
招待・特別講演等	第48回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会	長谷川 稔
招待・特別講演等	オテズラ錠発売1周年記念講演会in福井	長谷川 稔
一般講演(口演)	平成30年度 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診断ガイドラインに関する研究」研究班・平成30年度日本医療研究開発機構(AMED)難治性疾患実用化研究事業「全身性強皮症に対する新規低分子化合物の有効性に関する研究」研究班・第22回強皮症研究会議(SSC, Scleroderma Study Conference)合同会議	長谷川 稔
招待・特別講演等	乾癬Round Table Conference	尾山 徳孝
招待・特別講演等	福井県皮膚科学術講演会	尾山 徳孝
招待・特別講演等	第69回日本皮膚科学会中部支部学術大会	尾山 徳孝

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長(主査)・委員	氏名
Arthritis Research & Therapy		長谷川 稔
Journal Dermatol.		長谷川 稔
JEADV		長谷川 稔
Journal of Scleroderma and Related Disorders.		長谷川 稔
Nature Immunol.		長谷川 稔
Arch Dermatol Res.		長谷川 稔
Eur J Dermatol.		長谷川 稔
Modern Rheumatology Case Reports.		長谷川 稔
Jpn J Clin Immunol.		長谷川 稔
Inflammation Research.		長谷川 稔
Journal of Dermatological Science.		長谷川 稔
PLOS ONE.		長谷川 稔
Expert Review of Clinical Immunology.		長谷川 稔
日本皮膚免疫アレルギー学会誌		長谷川 稔
European Journal of Dermatology		長谷川 稔

(E) その他

1833101

Utsunomiya A: Intersociety Young Fellow Collegiality Awards, Trainee Retreat, JSID Travel Fellowship. (International Investigative Dermatology 2018), 20180516

1833102

宇都宮 慧: Janssen Psoriasis Award 受賞「国際学会賞」(日本乾癬学会), 201808

1833103

宇都宮 夏子: 硬化性苔癬(福井街角放送「Radioあいらんど」福大病院ましかどラジオのコーナー), 20180905

1833104

尾山 徳孝: ふくいのドクター相談室 子どもの爪がなかなか伸びない(福井), 20180802

1833105

宇都宮 夏子: 福大病院ましかどラジオ(福井街角放送), 硬化性苔癬, 20180905